

キク科 アザミ属

ノハラアザミ (野原薊)

Cirsium oligophyllum (Franch. et Sav.) Matsum.

自生環境

野原、林縁、土手 など

原産地

日本在来

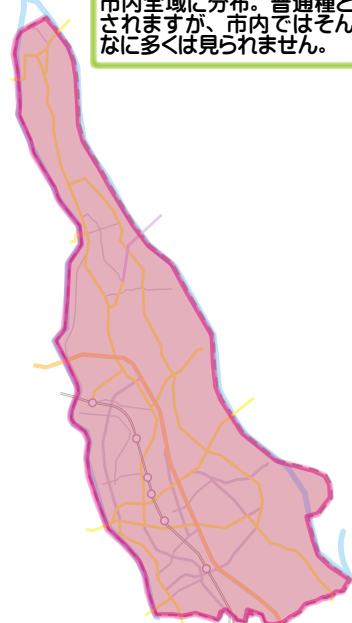
生育を脅かす要因



外来植物に覆われたり、除草剤をかけられたりすると、数が減ってしまいます。また宅地開発などで土地の様子が大きく変わると、そのまま絶えてしまう傾向があります。

市内の分布状況

市内全域に分布。普通種とされますが、市内ではそんなに多くは見られません。

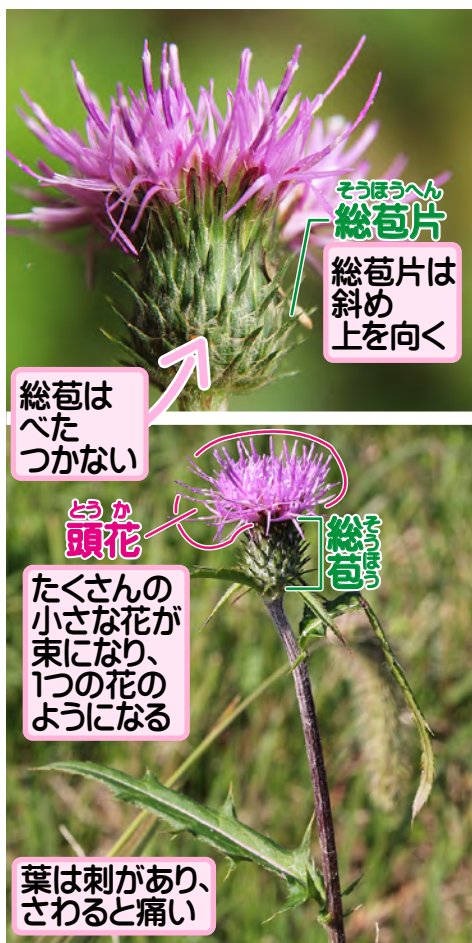


特徴

- ☆ 秋の野を代表するアザミのひとつで、比較的日常のよい野原や林の縁などにたくさん生えています。市内でもかつてはありふれた野の花だったようですが、開発などの影響で、めっきり少なくなっていました。
- ☆ 葉はギザギザと切れ込み、その先が鋭い刺になっています。株もとの葉は、中心の葉脈が赤くなりがちです。草丈は 1m 以上になりますが、草刈りが行われる場所ではコンパクトな状態で開花しているのをよく見かけます。花の咲いている時期も、株もとの葉は残る傾向があります。
- ☆ ノアザミによく似ていますが秋咲きで、総苞はさわってもベタベタしません。またトネアザミにも似ていますが、トネアザミの総苞片は横に開いたり反りかえったりするのに対し、ノハラアザミの総苞片は斜め上に向かってのびる点がちがいます。

虫さんが来たら花粉を出す

ノハラアザミをはじめとするアザミの仲間は、開花してもすぐに花粉を出しません。花に何かが触れたという刺激を検知してから初めて、花粉を出します。つまり虫さんが花にくるタイミングを見計らって花粉を出しているのです。効率よく虫さんに花粉を託すための作戦なのでしょう。ただ 1 つの花が刺激を検知するのは一回きり。花粉を出すと雄しべは役目を終え、今度は雌しべが顔を出します。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBJegnWATWd-UZsNzCA>

